

特徴

開発計画

記入要領

第14回種子島ロケットコンテスト ロケット部門 **設計計画書**

チーム名	
所属（学校名等）	
代表者氏名	

コメントの追加 [H1]: ページ数は最大で6ページまでとする。
詳細設計が未完の項目は、予定を記述する。
計画書から大きく変更があった場合は、技術発表会で説明すること。

種目番号（該当するものに☑印）

①滞空・定点回収 ②ペイロード有翼滞空 ③高度 ④フライバックタイムアタック

コメントの追加 [H2]: 種目2と3は、飛行安定性を証明するため試射を行い、参加申し込み締め切り日（12月3日）までに、参加申し込みフォームに、試射の様子の動画を確認できるURLを記入すること。

機体諸元

寸法: 直径 mm × 全長 mm **質量:** グラム

種目2のみ

ペイロード寸法: 直径 mm × 全長 mm **質量:** グラム

コメントの追加 [H3]: 寸法は本体チューブのみ。尾翼など突起含まず。

安定性

モデルロケットの安定比 C_S を $C_S = (\text{圧力中心} - \text{重心}) / \text{直径}$ と定義する。
競技に参加するモデルロケットの安定比は $C_S = 1.0 \sim 1.5$ でなければならない。

圧力中心位置: 機体の先端から mm

重心位置: 機体の先端から mm

安定比: _____

コメントの追加 [H4]: 種目1で多段式のものや、種目2については、打上げ時の全体形状について記す。

コメントの追加 [H5]: 重量はエンジン、ペイロード、回収装置を含む。ビーコンや高度計も含む。

コメントの追加 [H6]: 翼を展開するものは、展開後の寸法で記す。
横幅×奥行×高さ、に書き変えてもよい。

機体の回収方法（該当するものに☑印）

1. パラシュート 2. ストリーマ 3. その他 ()

コメントの追加 [m7]: 詳細は、「種子島ロケットコンテスト ロケット部門 安全審査基準」を参照する事。

コメントの追加 [H8]: 降下速度 5m/s 以下であること。
種目2については、ロケット部の回収方法を記す。

外観図

コメントの追加 [H9]: 既存機体の写真、設計図、CADのCG、手書きイラストなど。形状がわかるもの。複数でもよい。

特徴

コメントの追加 [H10]: 独創的な点や、工夫した点を説明してください。

(例)

- ・○○を用いて軽量化
- ・○○による機体の空気抵抗の低減
- ・カメラを搭載
- ・GPS を搭載
- ・機体の強度
- ・試射回数
- ・コスト
- ・かわいい外観デザイン
- ・種子島の強風を考慮して...

開発計画

コメントの追加 [H11]: 設計・製作・動作試験について、手順を説明し、大会までに無理なく完成できるスケジュールであることを示すこと。